

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：35005

学校名：羊丘中学校

改訂のポイント

- 「話し合い」の活動を通じて、「人と学び合う方法」を身につける。
- 学習習慣や基礎学力の定着を図る。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「話し合い」の活動を通じて、「人と学び合う方法」を身につけた生徒を育てる。 ☆基礎・基本の定着を図るために、家庭学習習慣を身につける。		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・テスト前の学習相談の実施 ・学習記録表による学習習慣の定着 	【成果】 ⇒・学習相談については、教師側が来て欲しい生徒が、生徒の希望で集まるようになった。 ・生徒の実態の把握に生かされている。	【課題】 ◇全体に意欲的に取り組んでいる生徒が多いが、学年によって下位生徒が減るところまでには至っていない。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを組み込んだ授業を増やす。 	【成果】 ⇒小集団を生かした話し合いを組み込んだ授業を実施し、全教科で授業公開を行うことが出来た。現状の課題がはっきりした。	【課題】 ◇話し合いによって、どのように生徒の思考を深められるかの具体的な方法の追及が必要。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・テスト前の学習相談の実施 ・ITによる個への対応 	【成果】 ⇒学習相談の機会だけでなく、日常的にも気軽に質問してくる生徒が増えてきている。	【課題】 ◇学年による差があるが、身につけて欲しい基礎・基本のスキルの定着が十分でない教科が複数ある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 話し合い活動のルールを確立し、「人と学び合う方法」を身につける。		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○司会や記録などの話し合いでの役割分担を明確にする。 ○下位生徒への対応を強化し、生徒のレディネスをそろえるために、基礎・基本の定着を目指す。 ○話し合い活動を活かした授業を実施し、他者との関わりの中で自分の意見を述べることで、学習内容の理解の深化を図る ○「学習記録表」の継続を図り、自分の生活を自分でしっかりコントロールする力をつける。 ○色々な場面で、生徒達が出来ようになったことを「認めてほめる」働きかけの機会を増やす。 ○学校生活や学習の楽しさを感じられるような授業や行事への取り組みを図る。 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○「全国学力学習状況調査」 ○「学習などについてのアンケート調査」 ○評定や定期テストの得点分布 		